

2017年度

学 生 募 集 要 項

理工学研究科

関西大学大学院

個人情報の取扱いに関する重要事項

関西大学大学院では、入学試験の出願にあたってお知らせいただいた個人情報（住所、氏名、電話番号など個人を特定しうる情報、以下「個人情報」という。）について、法令および関西大学大学院個人情報保護方針に従って取扱います。

関西大学大学院個人情報保護方針については、本学ウェブサイトのトップページ（<http://www.kansai-u.ac.jp/>）から「個人情報の取扱いについて」をご参照ください。

1 個人情報の利用目的

志願者の個人情報については、以下の利用目的の達成に必要な範囲内でのみ利用します。

- (1) 入学試験実施（出願処理、受験票発送および入学試験実施）
- (2) 合格者発表
- (3) 入学までの諸手続

2 個人情報の管理

関西大学大学院では、上記1の目的で収集した志願者の個人情報について、個人情報保護管理者を定め厳重に管理し、一定期間保管後、法令等に基づき適切に廃棄します。

3 個人情報の共同利用について

次の外郭団体は、下記の目的および情報に限定して、個人情報を本学と共同して利用します。

関西大学共済会（以下、「共済会」と略す。）

共済会は、学生生活の向上を図ることを目的として、傷病、入院、死亡、賠償責任等に係る共済制度を実施しています。

<利用の目的および情報は以下のとおりです。>

- 入学金(入学登録金)納入者の手続番号、氏名、生年月日、研究科・専攻・専修の情報
(共済会加入金の納入状況確認および共済会加入手続きのため)

4 個人情報の第三者提供について

関西大学大学院では、志願者本人の同意があった場合、または、法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に提供することはありません。

5 個人情報の預託について

上記1に関する業務について、その一部を業者に委託することがあります。個人情報の預託にあたり、個人情報保護水準が十分な業者を選定し、志願者の個人情報の取扱いに関する条項を設けた契約を結んだ上で、関西大学大学院の個人情報保護方針に従った方法により適切に取扱うよう管理します。

6 関西大学大学院入学試験の統計資料について

関西大学大学院では、個人が特定されない状態で入学試験の統計資料を作成しています。この統計資料は、関西大学大学院進学希望者への情報提供、当該データの分析および今後の関西大学大学院入学試験のために利用します。

7 個人情報の開示、訂正、削除について

志願者から個人情報の開示・訂正・削除の請求があった場合、志願者本人であることを確認後、法令・基準等に基づき、速やかに対応いたします。なお、入学試験の合否判定の評価に関する事項については開示しません。

8 問い合わせ窓口

個人情報の開示、訂正、削除等、志願者の個人情報に関するお問い合わせは、関西大学入試センター大学院入試グループにご連絡ください。

関西大学 入試センター 大学院入試グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 TEL: 06-6368-1121 (大代表)

目 次

個人情報	の取扱いに関する重要事項	
I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	2017年度入学試験日程および各種手続期間一覧	1～2
III	出願から入学手続までの流れについて	3
	1 出願手続	4～6
	2 受験票のダウンロード	6
	3 入学試験日	6
	4 合格者発表	6
	5 入学手続	7
	◆個別の入学資格審査の申請方法について	8
	◆日本国外に居住する入学試験受験者および入学予定者に対する 査証取得にかかるサポートについて	9～10
IV	Web エントリーおよび入学検定料の納入について	11～12
V	Web エントリー・出願書類に関する注意事項	13～14
VI	入学検定料納入に際しての注意事項	14～15
VII	募集内容	
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻および入学定員	16
	一般入学試験(8月募集)	17～20
	外国人留学生入学試験(10月募集・2月募集)	21～23
	社会人入学試験(10月募集・2月募集)	24～25
	特別選抜入学試験(2月募集)	26～29
	2017年度 研究領域および担任教員一覧(予定)	30～33
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	34
	一般入学試験(10月募集・2月募集)	35～36
	外国人留学生入学試験(10月募集・2月募集)	37～38
	社会人入学試験(10月募集・2月募集)	39～40
	2017年度 研究領域および担任教員一覧(予定)	41～44
VIII	共通事項	
	1 障がいのある受験生等への受験上の配慮および修学上の 配慮について	45
	2 受験上の注意	45～46
	3 入学試験実施に際しての対応について	46
	4 2017年度 学費・諸費	47
	5 奨学金のご案内	48～49
	6 関西大学への主な交通機関	50
	7 試験場のご案内	51
	出願書類（本学所定用紙）	
	・ 志望理由書	
	・ 推薦書	
	・ 個別の入学資格審査申請書	
	・ 宛名シート	

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理工学研究科では、本学の学是である「学の実化（学理と実際との調和）」を科学・技術の面から実践する研究者、高度専門職業人の養成を目的としている。入学者には、一定の基礎学力はもとより、高い知的好奇心、現実を直視する精神力、地道な努力を怠らない忍耐力が要求される。一方、科学技術の飛躍的な広がり、分野を横断した幅広い視野とともに基礎・応用領域縦断型の問題発見・問題解決能力を併せもつ人材を必要としており、他分野の概念や価値観を受け入れる寛容性と柔軟性が要求される。また、実践的に「しくみづくり」「まちづくり」「ものづくり」に取り組む姿勢を明確にすることが要求される。理工学研究科では、一般入学試験の他、外国人留学生入学試験、社会人入学試験、学内進学試験など様々な入試制度を用意し、異なるタイプの学生を積極的に受け入れている。

II 2017 年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものとして取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

日程	8月募集	10月募集		2月募集	
入学定員	【システム理工学専攻】 【環境都市工学専攻】 【化学生命工学専攻】 【総合理工学専攻】		前期課程：125名	前期課程：70名	前期課程：80名
			後期課程：57名		
課程	前期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 ■特別選抜入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間	2016年7月5日(火)～7月19日(火)	2016年8月30日(火)～9月13日(火)		2017年1月6日(金)～1月17日(火)	
出願書類提出期間	2016年7月12日(火)～7月19日(火)	2016年9月6日(火)～9月13日(火)		2017年1月10日(火)～1月17日(火)	
受験票ダウンロード 開始日	2016年8月8日(月)	2016年10月3日(月)		2017年2月13日(月)	
試験日	2016年8月27日(土)	2016年10月9日(日)		2017年2月18日(土)	
合格者発表日	2016年9月2日(金)	2016年10月14日(金)		2017年2月24日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2016年9月2日(金)～9月16日(金)	2016年10月14日(金)～10月28日(金)		2017年2月24日(金)～3月15日(水)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2017年2月22日(水)～3月15日(水)				

※入試種別ごとの入学定員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止に備え、次のとおり予備日を設定します。
試験を延期する場合は、試験当日7時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

日程	8月募集	10月募集	2月募集
予備日	2016年8月28日(日)	2016年11月6日(日)	2017年2月19日(日)
合格者発表日	2016年9月2日(金)	2016年11月11日(金)	2017年2月24日(金)
入学手続Ⅰ-(1)	2016年9月2日(金) ~9月16日(金)	2016年11月11日(金) ~11月25日(金)	2017年2月24日(金) ~3月15日(水)
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2017年2月22日(水)~3月15日(水)		

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)
で案内しています。

Ⅲ 出願から入学手続までの流れについて

出願手続には、(1)～(3)の全ての手続が必要です。

なお、出願の前に、必ず「出願資格」の有無について確認してください。

1 出願手続

(1) Web エントリーおよび出願書類の印刷 (4 ページ参照)

(2) 入学検定料の納入 (4～5 ページ参照)

(3) 出願書類の提出 (5～6 ページ参照)

2 受験票のダウンロード (6 ページ参照)

3 入学試験日 (6 ページ参照)

4 合格者発表 (6 ページ参照)

5 入学手続 (7 ページ参照)

1 出願手続

出願手続には、次の(1)Web エントリーおよび出願書類の印刷、(2)入学検定料の納入、(3)出願書類の提出の全ての手続が必要です。出願にあたっては各手続の注意事項をよく確認して手続きしてください。なお、手続期間については、1 ページ「II 2017 年度入学試験日程および各種手続期間一覧」をご確認ください。

(1) Web エントリーおよび出願書類の印刷

(ア) Web エントリー

11～12 ページ「IV Web エントリーおよび入学検定料の納入について」を参照のうえ、所定期間内に手続きしてください。

なお、Web エントリー完了後に付与される整理番号は 6 ページ「2 受験票のダウンロード」の際に必要となりますので必ず控えておいてください。

【Web エントリーサイト URL】

<https://www.univ-jp.com/kansai-u/>

注1 パソコンからの利用を推奨します。

注2 個別の入学資格審査の対象者は、出願資格が認められた後に Web エントリーを行ってください。

注3 Web エントリーできない事情がある場合は、各日程の Web エントリー開始日までに大学院入試グループへ連絡してください。

(イ) 出願書類の印刷

Web エントリー完了後、志願票一式を印刷してください。

なお、志望理由書および封筒貼付用宛名シート等の必要書類については、出願書類のダウンロード画面から印刷してください。

また、出願書類として必要な書類は後掲の「VII 募集内容」の「2 出願書類」で必ず確認してください。

(2) 入学検定料の納入

入学検定料 35,000 円を所定期間内に納入してください。

納入にあたっては 14～15 ページ「VI 入学検定料納入に際しての注意事項」を参照し、手続きしてください。

なお、一旦納入された入学検定料は、返還いたしません。

また、個別の入学資格審査の対象者は、出願資格が認められた後に納入してください。

海外からの支払いについて

Web エントリーの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択することができます。クレジットカードをお持ちの場合は、可能な限りクレジットカードにて納入してください。

クレジットカードにて納入ができず、日本国外から送金される場合は、次のとおり手続きを行ってください。

- ・必ず、出願者本人の住所・氏名で送金手続きをしてください。
- ・外貨では受け付けませんので、必ず日本円で送金してください。
- ・全ての手数料は、送金依頼者負担となります。送金手続を行う本国の金融機関以外に、途中経由する銀行や日本側の受取銀行の手数料も発生します。金融機関窓口で十分確認のうえ、海外送金の手続きを行ってください。

【送金に関する手数料について】

1. 海外送金依頼書の手数料欄に、「OUR」、「BEN (beneficiary)」、「SHA (share)」の選択肢が記載されている場合、必ず「OUR」を選択してください。「OUR」を選択した場合、基本的には経由銀行や受取銀行で発生する手数料も送金依頼者負担となります。その他、「BEN (beneficiary)」や「SHA (share)」を選択した場合、手数料が差し引かれた金額が送金されるため、不足した金額が本学に着金することになるため、受験できません。

(例)

送金手数料 (経由銀行および受取銀行を含む)

OUR BEN SHA

2. 海外送金依頼書の手数料欄に、「OUR」、「BEN (beneficiary)」、「SHA (share)」の選択肢が無い場合は、手続きを行う銀行で、経由銀行および受取銀行で発生する手数料を含む全ての手数料を送金依頼者が負担する旨を確認のうえ、必ず手数料の扱いを「OUR」として送金するよう手続きを行ってください。
3. 本学に着金した金額に不足が発生した場合、いかなる理由でも不足分を再度送金いただくこととなります。不足分を送金する際の手数を再度負担することとなりますので、十分注意して送金手続きを行ってください。
なお、「OUR」を選択された場合でも、稀に経由銀行における手数料が差し引かれ不足した金額が本学に着金する場合があります、この場合も不足分は再度送金いただくこととなります。

【送金方法】

送金種別：電信送金

支払方法：銀行振込

関西大学着金金額：35,000 円

【振込口座】

銀行名：りそな銀行 天六支店 (Resona Bank, Ltd. Tenroku Branch)

銀行住所：〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋 7 丁目 1 番 24 号

(7-1-24, Tenjinbashi, Kita-ku, Osaka-shi, OSAKA 531-0041 JAPAN)

SWIFT ADDRESS: DIWAJPJT

預金種類：普通預金 (Ordinary Account)

口座番号：8350312 (Account Number)

受取人名：関西大学 (Kansai University)

受取人住所：〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号

(3-3-35, Yamate-cho, Suita-shi, OSAKA 564-8680 JAPAN)

(3) 出願書類の提出

出願書類を市販の角 2 封筒に入れ、「封筒貼付用宛名シート※」を貼付したうえで、所定期間内に下記の「出願書類提出先」へ提出してください。

※「封筒貼付用宛名シート」は巻末の「封筒貼付用宛名シート」を使用するか、出願書類のダウンロード画面から印刷してください。

[持参の場合]

出願期間中の 10 時～16 時の間に次の提出先に提出してください。

※持参する場合も「封筒貼付用宛名シート」を角 2 封筒に貼付して提出してください。

[郵送の場合]

出願期間内に簡易書留速達にて郵送してください (締切日当日の消印有効)。

※出願書類が角 2 封筒に入りきらない場合は、荷物の追跡が可能な「ゆうパック」や宅配便を利用してください。

出願書類提出先

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学 入試センター大学院入試グループ（新関西大学会館北棟1階）

※ 日本国外から出願する場合は、事前に大学院入試グループに連絡してください。
また、出願書類送付後、荷物の追跡番号を下記のメールアドレスへ連絡してください。

Tel. : +81-6-6368-1407

E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

2 受験票のダウンロード

受験票は発送しませんので、各自で各日程の受験票ダウンロード開始日10時から試験当日までに、下記のURLからダウンロードのうえ、A4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。

【受験票ダウンロードサイト URL】

<https://www.univ-jp.com/jyukenhyo/kandai/>

注1 パソコンからの利用を推奨します。

注2 ダウンロードには Web エントリー完了時に付与された整理番号および生年月日が必要となります。

3 入学試験日

(1) 試験当日

試験開始20分前までに試験場へ入室してください。

試験開始30分経過後の遅刻者には受験を許可しません。

なお、交通機関等の遅れによる遅刻の可能性がある場合には、入試実施本部へ連絡し、指示を受けてください。

(2) 試験場

関西大学 千里山キャンパス 第1学舎または尚文館（予定）

入試実施本部：06-6368-1407

※ 試験場の詳細については、「受験票」での通知および試験当日の掲示にてお知らせします。

4 合格者発表

合格・不合格の通知は、各日程の合格者発表日に本人宛に速達で発送します。

これが唯一の正式な通知です。

送付状況等により通知書が届くのは翌々日以降となる場合もあります。

注1 通知書の郵送途中で生じた事故（紛失、個人情報の漏えい等）について、本学では責任を負いかねます。

注2 大学構内において掲示による発表は行いません。

注3 電話やメール等による合否の問い合わせには応じられません。

注4 筆記試験、口頭試問の両方またはいずれかを欠席した場合は、合否通知は行いません。

注5 合格者の受験番号は、本大学院入試情報サイトに期間を限って掲載します。

5 入学手続

合格者には「合格通知書」、「入学時納付金納入用紙」等の書類を送付しますので、同封書類の案内に基づき、次の入学手続を行ってください。所定の期日までに手続を完了しない場合は入学を許可しません。

(1) 入学手続 I - (1) (入学金<入学登録金>の納入)

合格通知書に同封する本学所定の振込依頼票により締切日の 13 時までには納入してください。なお、一旦納入された入学金 (入学登録金) は返還いたしません。

注 関西大学を卒業または関西大学大学院を修了した者は、入学金 (入学登録金) を徴収しないため、「入学手続 I - (1) (入学金<入学登録金>の納入)」はありません。

(2) 入学手続 I - (2) (授業料・諸費の納入)

入学手続 II (Web 登録・書類の提出)

2017 年 2 月中旬に送付 (2 月募集は合格通知書に同封) する『入学手続案内書 (II)』に基づき、授業料・諸費の納入および Web 登録・必要書類を提出してください。

また、授業料・諸費は所定の振込依頼票により締切日の 13 時までには納入してください。

なお、次の場合は必ず大学院入試グループへ連絡してください。

- ・ 2017 年 2 月 22 日 (水) を過ぎても入学手続書類が届かない場合 (2 月募集を除く)
- ・ 合格後に住所が変更になった場合

連絡がないために、各種書類が到着しなかったり、遅延した場合、関西大学はその責任を負いません。入学手続書類に基づき入学手続きを所定の期日までに完了しない場合、入学を許可できませんのでご注意ください。

2 月募集の合格者については、入学手続 I と II を同時に行ってください。

(3) 納入方法

本学所定の振込依頼票で最寄りの銀行・信用金庫・信用組合・農協等の窓口から電信扱いで振り込んでください。ATM (現金自動預払機) での振込みはしないでください。また、郵便局 (ゆうちょ銀行)、コンビニエンスストアからの振込みはできません。

金融機関において 10 万円を超える現金での振込みを行う場合は、本人確認書類の提示が必要となります。

入学検定料・入学金・授業料などを現金で振込みされる場合には、本学所定の振込用紙とともに、振込み手続を行う方の本人確認書類 (運転免許証、健康保険証、旅券 (パスポート) など) をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

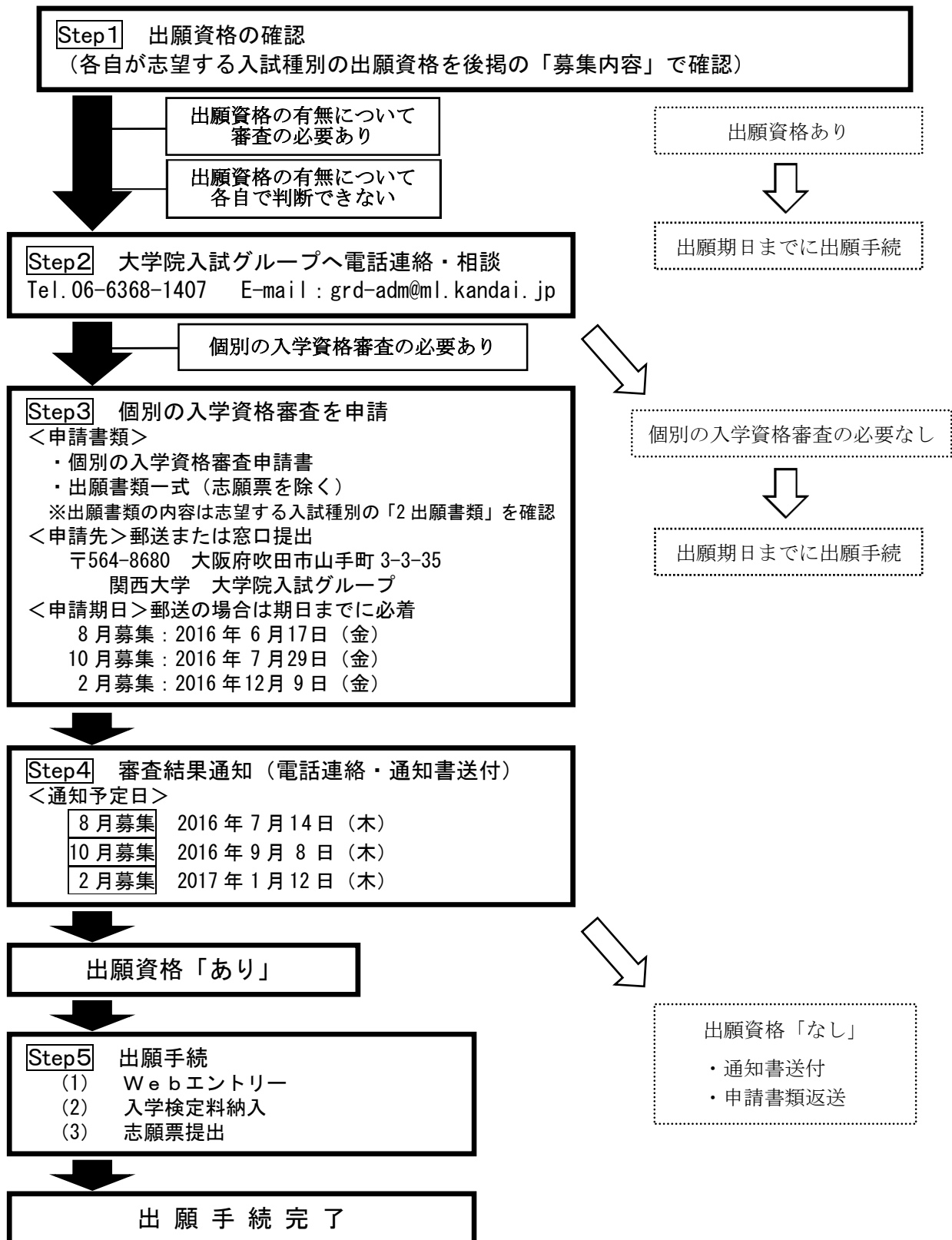
詳しくは、振込みを依頼する金融機関にお問い合わせください。

※ 入学辞退に伴う授業料等の返還について

やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、2017 年 3 月 31 日 (金) までに入学辞退を願った者に限り、すでに納めた授業料・諸費の返還を請求することができます。

(具体的な手続方法については、『入学手続案内書 (II)』に記載します。)

◆ 個別の入学資格審査の申請方法について



出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格審査を経ずに出願を認めます。

ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

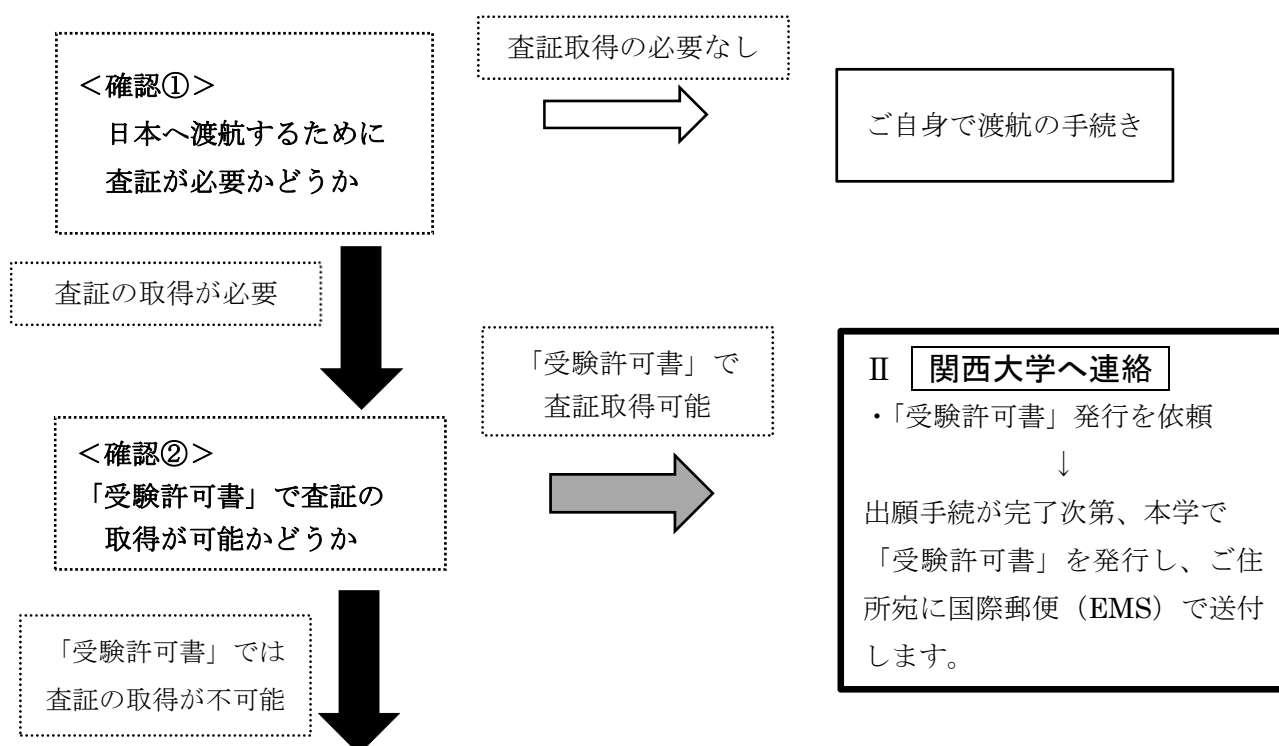
◆ 日本国外に居住する入学試験受験者および入学予定者に対する査証取得にかかるサポートについて

1. 「入学試験受験者」の渡日にかかる短期滞在査証取得のためのサポート

入学試験の受験にあたって、受験票だけでは渡日する際の短期滞在査証が発行されない方に対し、受験者の申し出により本学では「受験許可書」の発行等のサポートを行っています。

つきましては、日本国外に居住する受験者は、以下のとおり確認のうえ手続きしてください。

I 各自で、自国の日本国大使館・領事館において、査証取得について確認・相談



II 関西大学へ連絡

受験許可書では査証の取得ができない旨、連絡してください。

本学が招へい人となり「短期商用等」査証の取得に必要な書類を発行します。

ただし、「短期商用等」査証の取得に必要な書類の発行にあたっては、本学が指示する書類を提出していただく必要があります。

詳細は、短期滞在査証取得のサポートを申し出た際に説明します。

なお、「短期商用」査証は日本大使館・総領事館で審査されるものであり、関西大学がその取得を保証するものではありません。

注意 「受験許可書」の発行および「短期商用等査証」取得に必要な書類の発行には時間を要しますので、出願開始前の早い段階で大学院入試グループ宛に連絡してください。

2. 「入学予定者」に対する「在留資格認定証明書」交付の代行申請について

日本国外に居住する本大学院入学予定者で、留学査証取得に必要な「在留資格認定証明書」交付の代行申請を希望する場合は、本学で代行申請を行います。

なお、本手続は日本国外居住者を対象に行うもので、日本国内居住者に対する代行申請は行いません。

また、「在留資格認定証明書」交付の審査は入国管理局が行うため、本学が交付を保証するものではありません。

《 手続方法 》

10月募集

合格通知書に同封の資料で確認してください。

なお、入学手続 I - (1) 完了後に出身国へ帰国し代行申請を希望する場合は、入学手続 I - (1) を行う時に必ずメールで連絡してください。

2月募集

本学大学院を受験予定の方で、代行申請を希望する場合は、出願時に必ずメールで連絡してください。

< 連絡先 >

関西大学 入試センター大学院入試グループ

Tel.06-6368-1407

+81-6-6368-1407

E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

Ⅳ Webエントリーおよび入学検定料の納入について

次の手順により、Webエントリーおよび入学検定料の納入を行ってください。

1 Webエントリーのページへアクセス

Webエントリーのページは、以下のURLからアクセスしてください。

<https://www.univ-jp.com/kansai-u/>

2 Webエントリーとその後の手続の流れを確認

初めて出願する場合は、「出願登録する」を選択してください。



試験日程一覧 <出願情報の登録>

出願で申し込み一覧

6月募集

大学院	入試種別	出願期間	受付状況
理工学研究科	修士課程前期課程 ・一般入学生験 ・修士課程中期課程(秋季編入学) ・社会人入学生験	7月5日(火)～7月19日(火)	受付中

出願登録する 登録内容を修正する

3 利用規約、個人情報の取扱いを読み、「同意する」をクリック

4 志望情報入力

5 個人情報入力

6 出願内容確認

7 支払い方法の選択および出願情報の登録完了

支払金額と手数料が表示されます。支払方法を確認し、「出願登録を完了する」をクリックしてください。登録が完了すると、整理番号が表示されます。整理番号は受験票をダウンロードする際に必要です。

8 必要書類を確認、提出

志願票および他の出願書類を印刷し、提出してください。

- 各日程のWebエントリー期間の締切日23:00までに完了してください。
- コンビニエンスストアや金融機関ATM【ペイジー】で入学検定料を納入する際には、出願登録完了時に取得した[番号]が必要です(番号は支払先によって異なります)。

9

入学検定料の支払い

詳しい支払方法については、Webエントリー画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。

下記①～⑤のいずれかの方法でお支払いください。

『Webエントリー完了後』に入学検定料の支払い

①金融機関窓口または本学出納窓口

現金支払

※Webエントリー画面から「銀行振込」を選択

お支払いの際は、Webエントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）を使用してください。
※印刷した振込依頼票は、金融機関および本学出納窓口専用です。（コンビニエンスストアでは使用できません。）

②コンビニエンスストア

現金支払

※Webエントリー画面から「コンビニエンスストアで支払う」を選択

					
レジにて「インターネット支払い」の旨を伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。	「各種サービスメニュー」を選択	「代金支払い」を選択	「各種支払い」を選択	「インターネット受付・各種代金お支払い」を選択	レジで「オンライン決済」とお伝えください。
※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみでOKです。	「各種代金・インターネット受付」を選択	「各種代金お支払い」を選択	「オンライン決済番号」を入力	「オンライン決済番号」を入力	レジ画面で「オンライン決済番号」を入力
マルチコピー機は利用しません。	「各種代金お支払い」を選択	「お客様番号」「確認番号」を入力	端末から出力された申込券を持って、レジでお支払いください。	端末から出力された申込券を持って、レジでお支払いください。	内容を確認し、レジでお支払いください。
	「お客様番号」「確認番号」を入力	端末から出力された申込券を持って、レジでお支払いください。			
	端末から出力された申込券を持って、レジでお支払いください。				

『Webエントリー時』に入学検定料の支払手続き

③金融機関 ATM【ペイジー】

現金支払

キャッシュカード

ゆうちょ銀行、Pay-easy対応ATMでお支払いが可能です。



「料金払込（ペイジー）」または「Pay-easy」を選択

収納機関番号に【58021】と入力

「お客様番号」「確認番号」を入力

支払方法を選択（現金またはキャッシュカード）し、お支払いください。

④ネットバンキング（ペイジー含む）

口座引落

ゆうちょ銀行、都市銀行、地方銀行、ネット専門銀行などのネットバンキングを利用してお支払が可能です。



※Webエントリー画面から「ネットバンキングで支払う」を選択

ネットバンキングの一覧から金融機関を選択しログイン

内容を確認し、お支払いください。

⑤クレジットカード

以下のロゴマークがあるクレジットカードが利用できます。



※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。ただし、「個人情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

※Webエントリー画面から「クレジットカードで支払う」を選択

「カード情報」を入力したら、お支払い完了です。



- 支払手続は、各日程の入学検定料納入期間に関わらず、Webエントリー完了時に通知された【入金期限】までに完了してください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、返還いたしません。
- コンビニエンスストアのATMはご利用いただけません。
- 入学検定料の他に、手数料が別途かかります。詳細はサイト上でご確認ください。

以上で、出願手続きは完了です。

V Web エントリー・出願書類に関する注意事項

Web エントリー上の注意事項

- 1 Web エントリーで入力された情報については、試験実施等、入学までの諸手続に利用します。
- 2 Web エントリー確定後、入学検定料を納入するまでの間に間違いが判明した場合は、最初から Web エントリーを行ってください。
なお、登録を再度行った場合は、前回取得した志願票および各種手続番号（整理番号、払込票番号等）は破棄してください。前回取得した志願票および各種手続番号を用いて入学検定料の納入や出願書類の提出をした場合は、出願が完了したことにはなりませんのでご注意ください。
- 3 入学検定料納入後や出願書類提出後に登録内容の間違いが判明した場合は、大学院入試グループまで連絡してください。
- 4 Web エントリーにおいて使用可能な文字は、JIS 第一水準、第二水準の文字、半角記号や英数字です。これらに含まれない文字（中国語簡体字および繁体字も含む）は代用漢字もしくはカタカナをお使いください。使用できない文字の主な例としては、「高、崎、①、②（丸付き数字）、I、i、II、ii（ローマ数字）」などがあります。代用した文字は入学手続の段階で正しい文字に変更が可能です。
- 5 Web エントリーできない事情がある場合は、各日程の Web エントリー開始日までに大学院入試グループへ連絡してください。
※その他、不明な点は巻末の「Web エントリーに関する Q&A」を参照してください。

出願書類に関する注意事項

- 1 志望理由書
 - (1) 博士課程前期課程の場合、志望研究領域欄は「2017 年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧」（30～33 ページ）、理工学研究科ウェブサイトおよび「関西大学大学院 Information 2017」（別冊）を参照のうえ、各自が志望する分野の研究領域（第1志望・第2志望）を選択してください。なお、第2志望の研究領域がない場合は「なし」と記入してください。
また、環境都市工学専攻で「地域再生学」を研究領域として志望する者は、「2017 年度 研究領域および担任教員一覧」（32 ページ）を参照のうえ、志望する分野（建築学分野または都市システム工学分野）を記入してください。
 - (2) 博士課程後期課程の場合、志望研究領域欄は「2017 年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧」（41～44 ページ）、理工学研究科ウェブサイトおよび「関西大学大学院 Information 2017」（別冊）を参照のうえ、各自が志望する研究領域を記入してください。
 - (3) 出願後、研究領域および受験科目の変更は一切認めません。
 - (4) 志望理由書の卒業(修士)論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。
なお、卒業(修士)論文がない場合、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。
 - (5) 出願書類に記入する氏名は、住民票またはパスポートに基づいて記入してください。

Web エントリーにおいて代用漢字等を使用した場合については、Web エントリー上の文字と異なっても問題ありません。

(6) 出願書類は、黒のインクまたはボールペンで記入してください。

2 出身大学等の成績証明書

(1) 出身大学等に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出してください。

(2) 成績証明書については、原本または大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。

3 出身大学等の卒業（見込）証明書

(1) 上記の成績証明書に「卒業」または「卒業見込」であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。

(2) 「卒業証書」ではなく、必ず「卒業証明書」を提出してください。

(3) 卒業（見込）証明書については、原本または大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。

4 その他

(1) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。

(2) 各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

(3) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。

(4) 受理した書類は返還しません。

(5) 出願に関するお問い合わせは、以下の本学休業日以外にお願いします。

- ・日曜日、祝日
- ・2016年8月1日（月）～9月20日（火）の間の土曜日
- ・2016年8月11日（木・祝）～8月20日（土）
- ・2016年12月26日（月）～2017年1月5日（木）

VI 入学検定料納入に際しての注意事項

11～12 ページ「IV Web エントリーおよび入学検定料の納入について」を参照してください。

金融機関の窓口で納入の場合

1 Web エントリーの「支払方法」を選択する際、「**銀行振込**」を選択のうえ、「**電信振込**」を取り扱う最寄りの銀行・信用金庫・信用組合・農協等金融機関の窓口で各日程の入学検定料納入期間の**締切日の13時まで**に振り込んでください。

※ ATM（現金自動預払機）による振込みはしないでください。また、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。

2 振込みには、Web エントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）を使用してください。

3 振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）は切り離さず、振込みの際に窓口へ呈示し

て、必ず振込依頼票（取扱店保存）の太枠部分を打電してもらってください。

- 4 振込み後、領収書（本人控）に金融機関の収納印が押してあることを必ず確認のうえ、各自大切に保管してください（出願書類提出時に同封する必要はありません）。

本学の出納窓口で納入の場合

- 1 Web エントリーの「支払方法」を選択する際、「**銀行振込**」を選択のうえ、各日程の入学検定料納入期間内に振り込んでください。
- 2 納入の際は、Web エントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）を使用してください。
- 3 納入後、領収書（本人控）に出納収納印が押してあることを必ず確認のうえ、各自大切に保管してください（出願書類提出時に同封する必要はありません）。
- 4 出納窓口の取り扱い時間は次のとおりです。

出納課分室（千里山キャンパス 新関西大学会館南棟 1 階）

9 時～15 時、16 時～17 時※

高槻キャンパスオフィス

9 時～16 時※

ミューズオフィス

9 時～16 時※

堺キャンパス事務室

9 時～16 時※

※土曜日、日曜日、祝日および本学が指定する休業日を除きます。

コンビニエンスストア、ペイジー（ATM・ネットバンキング）、ネット専門銀行およびクレジットカードで納入の場合

- 1 Web エントリーの「支払方法」を選択する際、「コンビニエンスストア、金融機関 ATM **【Pay-easy】**、ネットバンキング」を選択のうえ、各日程の入学検定料納入期間に関わらず、**Web エントリー完了後に表示される最終画面またはメールに通知された支払い期間内**に必ずお支払いください。
- 2 入学検定料を支払う際、Web エントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）は使用しません。
なお、コンビニエンスストアで支払う場合、入学検定料支払い後に受け取る「入学検定料・選考料 取扱明細書」等を、各自大切に保管してください（出願書類提出時に同封する必要はありません）。

VII 募集内容

理工学研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
理工学研究科	システム理工学専攻	125名
	環境都市工学専攻	70名
	化学生命工学専攻	80名

M 一般入学試験（8月募集）

1 出願資格

次の(1)～(9)いずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(7)いずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(8)または(9)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(8)または(9)による出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】 出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14 ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー後に確定したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出してください。
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	成績証明書に、卒業または卒業見込であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。 【出願資格(2)による志願者のみ、卒業証明書に代えて次の①または②の書類を提出すること】 ①学位を授与された者 学位記の写しまたは学位授与証明書 ②学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学評価・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)
システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、電気電子情報工学分野、化学生命工学専攻 生命・生物工学分野の志願者	
「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書	《出願に必要な外国語検定試験》 ・ TOEIC®公開テスト ・ TOEFL®iBT テスト ・ TOEFL®PBT テスト (注)TOEIC-IP、TOEFL-ITP 等の団体特別受験制度のスコア証明書は認めません。 《スコア証明書の提出について》 ・ スコア証明書は、2014 年 4 月 1 日以降に受験し、出願締切日までに発行されたものを有効とします。 ・ スコア証明書は原本とその写し 1 部を提出してください。提出された原本は確認後返却します。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験時間

筆 記 試 験		口頭試問
専門科目	外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～12:00（120 分）	13:30～15:00（90 分）	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、記試験当日に指示します。

5 専攻・分野別試験科目および配点

専攻	分野	出題科目および出題範囲		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必修】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必修】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各1問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から1問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 提出された TOEIC または TOEFL スコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	機械工学分野	専門科目	下記の5科目の間1すべてと、問2から2問を選択して解答する。 応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	電気電子情報工学分野	専門科目	電気回路 3問出題（問1 必修、問2、3より1問選択） 問1 直流回路（キルヒホッフの法則、直・並列回路、双対性、電力と整合） 問2、問3 交流回路（正弦波定常回路、回路の複素数表示、ベクトル図、共振回路、回路の諸定理、過渡現象の基礎） 電磁気学 次の範囲から4問出題 電荷、電場、電気容量、磁場、誘導とインダクタンス、電磁力	300点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150点

環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	建築学全般にわたる8～10問の設問から5問を選択	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	都市システム工学分野	専門科目	(a-1)、(a-2)群から各1科目の計2科目を選択、あるいは、(b)群の4科目から2科目を選択 (a-1) 土木計画学（「基礎社会システム計画」、「都市地域計画」の範囲） 水理学（「基礎水理学および同演習」、「応用水理学および同演習」の範囲） 環境工学（「環境工学」、「環境計画学」、「エコシステム工学」の範囲） (a-2) 構造力学（静定、不静定、弾性、弾塑性） 地盤工学（「基礎地盤力学」および「応用地盤力学」の範囲） 建設材料学（「建設材料学および同演習」の範囲） (b) オペレーションズ・リサーチ（「オペレーションズ・リサーチⅠおよびⅡ」の範囲） ネットワーク工学（「情報ネットワーク論」、「分散情報システム」の範囲） ソフトウェア工学（「ソフトウェア工学」、「オブジェクト指向プログラミング」の範囲） 応用数学（「微分積分ⅠおよびⅡ」、「線形代数ⅠおよびⅡ」、「解析学Ⅰ」、「確率モデル分析」の範囲）	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
		エネルギー・環境工学分野	専門科目	【必修】 物理化学 〔反応速度論、熱力学（化学平衡、相平衡を含む）、電気化学、溶液論、化学量論〕 【選択科目】 反応工学、プロセスシステム工学、触媒工学、流動伝熱、拡散分離の5科目から2科目選択 注 本学から関数電卓を貸与します
	外国語		英語	100点
	口頭試問		100点	
	化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	【(1)～(8)の8科目から2科目選択】 ただし(1)と(6)は同時に選択できない。 (1) 材料の熱力学と速度論（材料熱力学、速度論、物質移動） (2) 材料の構造と相平衡（結晶構造、X線回折、材料組織、状態図） (3) 材料の力学と物性（材料力学、材料の機械的・熱的・電氣的・光学的性質） (4) 有機化学 (5) 高分子化学 (6) 物理化学 (7) 無機化学 (8) 生体分子化学（生体分子の構造と機能） 注 本学から関数電卓を貸与します
外国語			英語	100点
口頭試問			100点	
生命・生物工学分野			専門科目	【次から2科目選択】 生化学、微生物学、有機化学
		外国語	筆記試験を行いません。 提出されたTOEICまたはTOEFLスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点

M 外国人留学生入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(4)いずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)いずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査において大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(4)による出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】 出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14 ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー後に確定したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学の成績証明書の原本 または成績を証明する公証書【③】	出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出してください。
出身大学の卒業（見込）証明書の原本または卒業（見込）を証明する公証書【④】	成績証明書に、卒業または卒業見込であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。

日本語または英語による研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して 作成してください。
パスポートまたは在留カードの写し【⑩】	パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在 留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコ ピーしてください。 在留カードの場合は両面をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と 志望理由書にそれぞれ貼付してください。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生 証」に使用します。)
システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、電気電子情報工学分野の志願者	
「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書	<p>《出願に必要なとなる外国語検定試験》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC®公開テスト ・ TOEFL®iBT テスト ・ TOEFL®PBT テスト <p>(注)TOEIC-IP、TOEFL-ITP 等の団体特別受験制度のスコア 証明書は認めません。</p> <p>《スコア証明書の提出について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スコア証明書は、2014 年 4 月 1 日以降に受験し、出願 締切日までに発行されたものを有効とします。 ・ スコア証明書は原本とその写し 1 部を提出してくださ い。提出された原本は確認後返却します。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語 (英語)	筆記試験終了後
10:00~12:00 (120 分)	13:30~15:00 (90 分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

5 専攻・分野別試験科目および配点

専攻	分野	出題科目および出題範囲		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必修】 微積分、線形代数 【2 題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	200 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必修】 力学、電磁気学、数学 (微積分、線形代数) 各 1 問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中 から 1 問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を 申請すること	200 点
		外国語	筆記試験を行いません。 提出された TOEIC または TOEFL スコアを換算し ます。	100 点
		口頭試問		100 点

システム理工学専攻	機械工学分野	専門科目	【出願時に、下記の5科目から2科目を選択すること】 応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、 機械力学	200点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	電気電子情報工学分野	専門科目	電気回路 2問出題 問1 直流回路（キルヒホッフの法則、直・並列回路、双対性） 問2 交流回路（正弦波定常回路、回路の複素数表示、ベクトル図） 電磁気学 次の範囲から2問出題 電荷、電場、電気容量 専門に関する小論文 1問出題	250点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
口頭試問			150点	
環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	専門に関する小論文（日本語で解答）	200点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	都市システム工学分野	専門科目	(a) 群の6科目から2科目を選択、あるいは、(b) 群の4科目から2科目を選択 (a-1) 土木計画学（「基礎社会システム計画」、「都市地域計画」の範囲） 水理学（「基礎水理学および同演習」、「応用水理学および同演習」の範囲） 環境工学（「環境工学」、「環境計画学」、「エコシステム工学」の範囲） (a-2) 構造力学（静定、不静定、弾性、弾塑性） 地盤工学（「基礎地盤力学」および「応用地盤力学」の範囲） 建設材料学（「建設材料学および同演習」の範囲） (b) オペレーションズ・リサーチ（「オペレーションズ・リサーチⅠおよびⅡ」の範囲） ネットワーク工学（「情報ネットワーク論」、「分散情報システム」の範囲） ソフトウェア工学（「ソフトウェア工学」、「オブジェクト指向プログラミング」の範囲） 応用数学（「微分積分ⅠおよびⅡ」、「線形代数ⅠおよびⅡ」、「解析学Ⅰ」、「確率モデル分析」の範囲） ただし、出願時に受験科目を申請すること	200点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	エネルギー・環境工学分野	専門科目	物理化学、化学工学に関する小論文（日本語もしくは英語で解答） 注 本学から関数電卓を貸与します	200点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	志望研究領域に関する化学・物質工学
外国語			英語	100点
口頭試問				100点
生命・生物工学分野		専門科目	【次から1科目選択】 生化学、分子生物学、微生物学、有機化学、 食品栄養科学 ただし、出願時に受験科目を申請すること	200点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点

M 社会人入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～ケのいずれかに該当する者

ア 大学を卒業した者

イ 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

キ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

ク 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

ケ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

ア 入学時において、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において引き続き2年以上勤務する見込みの者または2年以上勤務経験を有する者で、本研究科入学までに25歳に達する者。ただし、現職教員または経験者は本研究科入学までに22歳に達する者

イ アに準ずる職歴を有すると、理工学研究科委員会が認めた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-ク、(1)-ケまたは(2)-イに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-ク、(1)-ケによる出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14 ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備考
志願票（提出用）【①】	Web エントリー後に確定したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出してください。
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	成績証明書に、卒業または卒業見込であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。 注 出願資格(1)～イによる出願者のみ、卒業証明書に代えて学位記の写しまたは学位授与証明書を提出してください。
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で、A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
業績報告書【⑧】	在職中の研究業績内容または業務内容の概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で、A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
研究業績がある場合には、抜刷またはその写し【⑨】 ※該当者のみ	学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し各 4 部 印刷出力が難しい場合は、電子媒体そのものでも可
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

M 特別選抜入学試験（2月募集）

1 特別選抜入学試験の趣旨

21 世紀における人類社会のさらなる発展を期すために、科学創造立国を唱える我が国では、新技術の開発に貢献できる高度の研究開発能力と広い視野を持つ技術者の育成が急務となっている。本研究科はこのような社会の要請にこたえるため、特別選抜入学試験制度を実施し、独創性豊かな人材を広く学内外に求めようとするものである。そのため、特別選抜入学試験では、筆記試験中心の通常の入学試験とは異なり、志願者の基礎学力はもとより、本研究科での勉学・研究意欲、知的好奇心並びに科学技術への関心の度合いなどを書類審査と口頭試問により評価し、選抜を行う。

2 専攻・分野および募集人員

募集の有無について 【○：募集有り（若干名） ×：募集無し】

専攻	分野	他大学		本学システム理工学部、 環境都市工学部、 化学生命工学部および工学部	本学の左記以外の学部	
		既卒者	卒業見込者	既卒者 ただし、社会人入学試験の出願資格を満たさない者	既卒者	卒業見込者
システム理工学専攻	数学分野	○	○	○	○	○
	物理・応用物理学分野	○	○	○	○	○
	機械工学分野	○	○	○	○	○
	電気電子情報工学分野	×	×	×	×	×
環境都市工学専攻	建築学分野	○	○	○	○	○
	都市システム工学分野	×	×	×	×	×
	エネルギー・環境工学分野	○	○	○	○	○
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	○	○	○	○	○
	生命・生物工学分野	○	○	○	○	○

注 システム理工学専攻機械工学分野においては、事前に各研究領域の研究指導教員に意志を連絡しておくこと。

3 出願資格

次の(1)～(9)いずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(7)いずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

外国人留学生については、同一日に実施する「外国人留学生入学試験」に出願してください。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(8)または(9)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(8)または(9)による出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限りです。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をし、出願資格および試験日当日の口頭試問における準備資料について確認をする必要があります（「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

4 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備考
志願票（提出用）【①】	Web エントリー後に確定したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出してください。
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	成績証明書に、卒業または卒業見込であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。 【出願資格(2)による志願者のみ、卒業証明書に代えて次の①または②の書類を提出すること】 ①学位を授与された者 学位記の写しまたは学位授与証明書 ②学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学評価・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)
推薦書【⑩】	本学所定の用紙 厳封したもので、原則として第三者により作成されたものを提出してください。厳封した封筒等に書類番号を明記してください。
写真 2枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)
<p>社会人経験(注)を持つ志願者のみ次の①および②も併せて提出してください。</p> <p>注 社会人経験とは、入学時に企業・教育・研究機関等で継続して2年間以上の実務経験があることを指します。</p>	
① 企業・研究・教育機関等での主要な業務・研究経歴とその内容および入学後の研究計画【⑫】	各4部 パソコン等でA4用紙(横書40字×40行)を使用して作成してください。
② 学術講演会等での発表、書籍・学術雑誌等に掲載または掲載決定している論文等【⑬】	各4部 ある場合のみ提出してください。

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験内容

試験科目	(1) 書類選考および口頭試問（口答・筆答を含む。） (2) 社会人経験を持つ者（現職教員を含む）については、所属機関での主要な業務内容と入学後の研究計画についてのプレゼンテーション (3) (2)以外の者については、大学院での学修・研究に係る事項についての自己アピールあるいは知的好奇心が高い特定の課題に対するプレゼンテーション 注1 筆記試験は実施しません 注2 (2)および(3)については、志願者は事前に説明資料・作品等を準備し、5～10分程度で行うこと なお、準備資料については、志望する研究領域の教員に確認すること
口頭試問の内容	(1) 出願書類に関する事項 (2) 志望分野・研究領域に関する基礎的科目に関する事項 (3) 自己アピール・プレゼンテーションに関する事項

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

2017年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)	
システム理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授 工博(阪大) ○ 楠 田 雅 治	
			教授 理博(京大) 竹 腰 見 昭	
			教授 博(数理科学)東大 ○ 藤 岡 敦	
			教授 博(理)早大 ○ 村 林 直 樹	
			教授 博(理)名大 ○ 柳 川 浩 二	
			准教授 博(理)阪大 ○ 和久井 道 久	
	確率・統計	教授 工博(阪大) ○ 安 芸 重 雄		
		教授 博(理)阪大 ○ 上 村 稔 大		
		教授 理博(阪大) ○ 長 井 英 生		
		准教授 Ph. D. (プリンストン大学) ○ 山 崎 和 俊		
		物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授 博(理)京大 ○ 板 野 智 昭
				教授 博(工)名大 ○ 伊 藤 博 介
	教授 博(理)大市大 ○ 伊 藤 誠			
	教授 工博(阪大) ○ 杉 本 信 正			
	教授 理博(京大) ○ 関 眞 佐 子			
	教授 理博(京大) ○ 和 田 隆 宏			
	光学・応用物理	教授 博(工)阪大 ○ 浅 川 誠		
		教授 博(材)北陸先端大 ○ 稲 田 貢		
		教授 博(工)早大 ○ 齊 藤 正		
		准教授 博(理)京大 ○ 山 口 聡 一 朗		
		准教授 博(工)東大 ○ 山 本 健		
		機械工学分野	ナノ機能物理工学	教授 理博(東工大) ○ 新宮原 正 三
	准教授 博(工)慶應大 ○ 伊 藤 健			
	准教授 博(工)広大 ○ 清 水 智 弘			
	流体工学・バイオメカニクス		教授 工博(阪大) ○ 板 東 潔	
			教授 博(工)阪大 ○ 山 本 恭 史	
			准教授 博(工)関大 ○ 田 地 川 勉	
	材料工学		教授 博(工)阪大 ○ 齋 藤 賢 一	
教授 工博(関大) ○ 宅 間 正 則				
准教授 博(工)京大 ○ 高 橋 可 昌				
トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授 博(工)東工大 ○ 小 金 沢 新 治			
	教授 工博(東大) ○ 多 川 則 男			
	教授 博(工)東大 ○ 谷 弘 詞			
	准教授 博(工)岩大 ○ 呂 仁 国			
熱工学	教授 博(工)関大 ○ 梅 川 尚 嗣			
	教授 博(工)同大 ○ 松 本 亮 介			
	准教授 博(工)関大 ○ 網 健 行			
	准教授 博(工)京大 ○ 小 田 豊			
生産加工システム	教授 工博(東大) ○ 山 口 智 実			
	准教授 博(工)東大 ○ 古 城 直 道			
機械力学・制御工学	教授 博(工)東大 ○ 宇津野 秀 夫			
	准教授 博(工)京大 ○ 山 田 啓 介			
	准教授 博(工)関大 倉 田 純 一			
計測システム	教授 工博(阪大) ○ 新 井 泰 彦			
	教授 博(理)広大 ○ 高 田 啓 二			
ロボット・マイクロシステム	教授 博(工)東大 ○ 青 柳 誠 司			
	准教授 博(工)広大 ○ 鈴 木 昌 人			
	准教授 博(工)東北大 ○ 高 橋 智 一			
人間・生体情報工学	教授 Ph. D. (ペンシルバニア州立大) ○ 小 谷 賢 太 郎			
	准教授 博(工)青学大 ○ 鈴 木 哲			

※上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。

URL: http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

2017年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
システム理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授 博(工)東大 ○大橋 俊介 教授 博(工)京大 ○山本 靖 准教授 博(工)横浜国立大 ○安田 陽 准教授 博(工)関大 ○米津 大吾
		機能性材料・デバイス	教授 工博(九大) ○大村 泰久 教授 博(工)阪大 ○北村 敏明 教授 理博(早大) ○田實 佳郎 准教授 博(工)阪大 ○佐伯 拓 准教授 博(工)京大 ○中村 和広
		情報通信工学	教授 工博(阪大) ○山本 幹 教授 博(工)阪大 ○四方 博之 准教授 博(工)阪大 ○平田 孝志 准教授 博(工)阪大 ○和田 友孝
		システム情報学	教授 博(工)慶大 ○肥川 宏臣 教授 工博(大府大) ○前田 裕 教授 博(工)金沢大 ○三好 誠司 准教授 博(工)京大 伊藤 秀隆
		メディア処理工学	教授 博(工)阪大 ○梶川 嘉延 教授 博(工)大市大 ○松島 恭治 教授 博(工)広大 ○棟安 実治
		知能ソフトウェア工学	教授 工博(阪大) ○榎原 博之 教授 博(工)大市大 ○徳丸 正孝 教授 工博(姫工大) ○村中 徳明 准教授 博(工)名大 ○小尻 智子 准教授 博(工)同大 ○花田 良子

※上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。

URL: http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

2017年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
環境都市工学専攻	建築学分野	構造系	教授 博(工)関大 ○伊藤 淳 志
			教授 工博(京大) ○西澤 英 和
			教授 博(工)京大 ○榊 井 健
			教授 博(工)京大 ○松田 敏
			准教授 博(工)京大 ○池永 昌 容
		計画系	教授 博(工)京大 ○江川 直 樹
			教授 博(工)阪大 ○大影 佳 史
			教授 博(工)東大 ○岡 絵 理子
			教授 工博(京大) ○木下 光
	准教授 博(工)阪大 ○藤田 勝 也		
	准教授 博(工)関大 ○亀谷 義 浩		
	環境系	教授 博(工)京大 ○河井 康 人	
		教授 博(工)阪大 ○原 直 也	
		准教授 博(工)京大 ○豊田 政 弘	
	都市システム工学分野	地球環境系	教授 博(工)京大 ○石垣 泰 輔
			教授 工博(関大) ○楠見 晴 重
			准教授 博(工)京大 ○尾崎 平
			准教授 Ph. D. (南カリフォルニア大) ○飛田 哲 男
			准教授 博(工)京大 ○安田 誠 宏
		設計建設系	教授 博(工)京大 ○小林 晃
			教授 工博(東工大) ○坂野 昌 弘
教授 博(工)九大 ○鶴田 浩 章			
准教授 博(工)阪大 ○石川 敏 之			
計画マネジメント系		教授 工博(京大) ○秋山 孝 正	
		教授 博(工)東北大 ○北詰 恵 一	
		教授 工博(京大) ○木村 俊 一	
	教授 博(工)阪大 ○尹 禮 分		
情報システム系	准教授 博(工)名大 ○井ノ口 弘 昭		
	教授 工博(京大) ○兼清 泰 明		
	教授 博(工)立命大 ○滝沢 泰 久		
	教授 博(工)奈良先端大 ○安室 喜 弘		
都市システム工学分野・共通	地域再生学	准教授 博(工)関大 ○窪田 諭 成	
		教授 博(工)京大 ○石垣 泰 輔	
		教授 博(工)阪大 ○江川 直 樹	
		教授 博(工)東北大 ○岡 絵 理子	
		教授 博(工)東大 ○北詰 恵 一	
		教授 工博(関大) ○木下 光	
		教授 工博(東工大) ○楠見 晴 重	
教授 工博(京大) ○坂野 昌 弘			
エネルギー・環境工学分野	エネルギー工学	教授 博(工)京大 ○西澤 英 和	
		教授 博(工)関大 ○池永 直 樹	
		准教授 博(工)関大 ○三宅 孝 典	
		准教授 博(工)関大 ○佐野 誠	
	環境化学	准教授 博(工)関大 ○中川 清 晴	
		准教授 博(工)関大 ○村山 憲 弘	
		教授 工博(京大) ○岡田 芳 樹	
		教授 博(工)京大 ○林 順 一	
		教授 博(工)関大 ○山本 秀 樹	
		准教授 博(工)関大 ○荒木 貞 夫	
准教授 博(工)阪大 ○木下 卓 也			
准教授 博(工)阪大 ○田中 俊 輔			
准教授 博(工)京大 ○長谷川 功			

※上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。
URL: http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

2017年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授 博(工)関大 ○池田勝彦 准教授 博(工)阪大 ○上田正人
		金属材料プロセス	教授 工博(京大) ○竹中俊英 教授 博(工)阪大 ○西本明生 教授 博(工)関大 ○星山康洋 教授 博(工)北大 ○丸山徹 准教授 博(工)大府大 ○森重大樹
		金属・無機材料物性	教授 博(工)三重大 ○荒地良典 教授 工博(京大) ○幸塚広光 教授 博(工)京大 ○竹下博之 教授 博(工)阪大 ○春名匠 准教授 博(工)慶應大 ○内山弘章
		無機・物理化学	教授 博(理)阪大 ○青田浩幸 教授 工博(阪大) ○石川正司 教授 博(理)九大 ○川崎英也 准教授 博(工)慶應大 ○山縣雅紀
		有機化学	教授 博(工)岐阜大 ○大洞康嗣 教授 博(工)関大 ○坂口聡 教授 理博(阪大) ○田中耕一 教授 工博(阪大) ○西山豊 准教授 博(工)阪大 ○梅田壘 准教授 博(理)大市大 ○矢野将文
		高分子化学	教授 博(工)東工大 ○工藤宏人 教授 博(工)東工大 ○三田文雄 准教授 博(工)関大 ○原田美由紀
		生体材料化学	教授 博(工)日大 ○岩崎泰彦 教授 博(工)京大 ○大矢裕一 教授 工博(阪大) ○田村裕 教授 博(工)大工大 ○平野義明 教授 博(地球環境科学)北大 ○古池哲也 教授 博(工)神大 ○宮田隆志 准教授 博(工)大府大 ○柿木佐知朗 准教授 博(工)東大 ○葛谷明紀
		生体機能分子化学	教授 学術博(神大) ○中林安雄 准教授 博(理)奈良女子大 ○中井美早紀 准教授 博(理)名大 ○矢島辰雄
		生命・生物工学分野	生命・医薬
	環境		教授 博(工)関大 ○岩木宏明 教授 農博(東大) ○片倉啓雄 教授 工博(関大) ○長谷川喜衛 教授 博(工)阪大 ○松村吉信
	食品		教授 学術博(岡大) ○河原秀久 教授 博(水産)北大 ○福永健治 教授 農博(京大) 医博(関西医科大) ○吉田宗弘

※上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。
URL: http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

理工学研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
理工学研究科	総合理工学専攻	57名

D 一般入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(7)いずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)いずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(6)または(7)による出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学学生を除く。）

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー後に確定したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	注 出願資格(6)または(7)により出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。

出身大学院の修了（見込）証明書【④】	成績証明書に、修了または修了見込であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。 注 出願資格(6)または(7)により出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。
研究計画書【⑤】	2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
写真 2枚	最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の写し【⑥】	4部
修士論文の概要【⑦】	2,000字程度 4部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部
出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目

筆記試験（100点）	口頭試問（100点）
外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～11:30（90分）	

注1 本学大学院工学研究科博士課程前期課程修了者および理工学研究科博士課程前期課程修了（または見込）者は「筆記試験」を免除します。

注2 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。
なお、筆記試験免除者の口頭試問の開始時刻は、受験票にて通知します。

D 外国人留学生入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(5)いずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)いずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学位を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイトを参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学学生を除く。）

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー後に確定したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書 または成績を証明する公証書【③】	
出身大学院の修了（見込）証明書 または修了（見込）を証明する公証書【④】	成績証明書に、修了または修了見込であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。
日本語または英語による 研究計画書【⑤】	2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。

パスポートまたは在留カードの写し【⑩】	パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。 在留カードの場合は両面をコピーしてください。
写真 2枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
日本語または英語による 修士論文の写し【⑥】	4部
日本語または英語による 修士論文の概要【⑦】	2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
研究業績【⑨】	学术论文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

D 社会人入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

ア 修士の学位または専門職学位を有する者

イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア {
- 出願資格(1)-ア、(1)-イ、(1)-ウ、(1)-エ、(1)-オによる志願者
入学時において、博士課程前期課程（修士課程）修了後、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において継続して2年以上専門職に勤務している者
 - 出願資格(1)-カによる志願者
入学時において、大学卒業後、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
 - 出願資格(1)-キによる志願者
入学時において、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者

イ アに準ずる職歴を有するものと理工学研究科委員会が認めた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

8ページ「個別の入学資格審査の申請方法について」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-カ、(1)-キによる出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は、書類選考の他に必要に応じて筆記試験および口頭試問を実施します。

出願資格(2)-イによる出願は、出願前に行う資格審査に合格した者に限ります。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information2017」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、13～14 ページ「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

なお、「封筒貼付用宛名シート」に基づき、各出願書類の右下に【書類番号】を明記してください。

提出書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー後に確定したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ※本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	注 出願資格(1)ーカまたは(1)ーキにより出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。
出身大学院の修了証明書【④】	成績証明書に、修了であることが記載または証明されている場合は、提出不要です。 注 出願資格(1)ーカまたは(1)ーキにより出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。
研究計画書【⑤】	2,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各 4 部
勤務先の所属長の承諾書【⑭】	様式自由
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
出願資格(1)ーア～(1)ーオで出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の写し【⑥】	4 部
修士論文の概要【⑦】	2,000 字程度 4 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
出願資格(1)ーカまたは(1)ーキで出願する者および専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要 2,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

2017年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
総合理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授 工博(阪大) ○ 楠 田 雅 治
			教授 理博(京大) 竹 腰 見 昭
			教授 博(数理学)東大 ○ 藤 岡 敦
			教授 博(理)早大 ○ 村 林 直 樹
	教授 博(理)名大 ○ 柳 川 浩 二		
	准教授 博(理)阪大 和久井 道 久		
	確率・統計	教授 工博(阪大) ○ 安 芸 重 雄	
		教授 博(理)阪大 ○ 上 村 稔 大	
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授 理博(阪大) ○ 長 井 英 生
			准教授 Ph. D. (プリンストン大学) 山 崎 和 俊
			教授 博(理)京大 ○ 板 野 智 昭
			教授 博(工)名大 ○ 伊 藤 博 介
			教授 博(理)大市大 ○ 伊 藤 誠
		教授 工博(阪大) ○ 杉 本 信 正	
		教授 理博(京大) ○ 関 眞 佐 子	
		教授 理博(京大) ○ 和 田 隆 宏	
		光学・応用物理	教授 博(工)阪大 ○ 浅 川 誠
			教授 博(材)北陸先端大 ○ 稲 田 貢
	教授 博(工)早大 ○ 齊 藤 正		
	准教授 博(理)京大 山 口 聡 一 朗		
准教授 博(工)東大 山 本 健			
機械工学分野	ナノ機能物理工学	教授 理博(東工大) ○ 新宮原 正 三	
		准教授 博(工)慶應大 伊 藤 健	
		准教授 博(工)広大 清 水 智 弘	
	流体工学・バイオメカニクス	教授 工博(阪大) ○ 板 東 潔	
		教授 博(工)阪大 ○ 山 本 恭 史	
		准教授 博(工)関大 田 地 川 勉	
	材料工学	教授 博(工)阪大 ○ 齋 藤 賢 一	
		教授 工博(関大) ○ 宅 間 正 則	
		准教授 博(工)京大 高 橋 可 昌	
	トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授 博(工)東工大 ○ 小 金 沢 新 治	
		教授 工博(東大) ○ 多 川 則 男	
		教授 博(工)東大 ○ 谷 弘 詞	
		准教授 博(工)岩大 呂 仁 国	
	熱工学	教授 博(工)関大 ○ 梅 川 尚 嗣	
		教授 博(工)同大 ○ 松 本 亮 介	
准教授 博(工)関大 網 健 行			
准教授 博(工)京大 小 田 豊			
生産加工システム	教授 工博(東大) ○ 山 口 智 実		
	准教授 博(工)東大 古 城 直 道		
機械力学・制御工学	教授 博(工)東大 ○ 宇津野 秀 夫		
	准教授 博(工)京大 山 田 啓 介		
計測システム	教授 工博(阪大) ○ 新 井 泰 彦		
	教授 博(理)広大 ○ 高 田 啓 二		
ロボット・マイクロシステム	教授 博(工)東大 ○ 青 柳 誠 司		
	准教授 博(工)広大 鈴 木 昌 人		
	准教授 博(工)東北大 高 橋 智 一		
人間・生体情報工学	教授 Ph. D. (ペンシルバニア州立大) ○ 小 谷 賢 太 郎		
	准教授 博(工)青学大 鈴 木 哲		

※ 上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。
 URL : http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

2017年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
総合理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授 博(工)東大 ○大橋俊介 教授 博(工)京大 ○山本靖 准教授 博(工)横浜国立大 安田陽 准教授 博(工)関大 米津大吾
		機能性材料・デバイス	教授 工博(九大) ○大村泰久 教授 博(工)阪大 ○北村敏明 教授 理博(早大) ○田實佳郎 准教授 博(工)阪大 佐伯拓 准教授 博(工)京大 中村和広
		情報通信工学	教授 工博(阪大) ○山本幹 教授 博(工)阪大 ○四方博之 准教授 博(工)阪大 平田孝志 准教授 博(工)阪大 和田友孝
		システム情報学	教授 博(工)慶大 ○肥川宏臣 教授 工博(大府大) ○前田裕 教授 博(工)金沢大 ○三好誠司
		メディア処理工学	教授 博(工)阪大 ○梶川嘉延 教授 博(工)大市大 ○松島恭治 教授 博(工)広大 ○棟安実治
		知能ソフトウェア工学	教授 工博(阪大) ○榎原博之 教授 博(工)大市大 ○徳丸正孝 教授 工博(姫工大) ○村中徳明 准教授 博(工)名大 小尻智子 准教授 博(工)同大 花田良子

※ 上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。
URL : http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

2017年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
総合理工学専攻	建築学分野	構造系	教授 博(工)関大 ○伊藤 淳 志
			教授 工博(京大) ○西澤 英 和
			教授 博(工)京大 ○榎井 健
			教授 博(工)京大 ○松田 敏
			准教授 博(工)京大 池永 昌 容
		計画系	教授 ○江川 直 樹
			教授 博(工)京大 ○大影 佳 史
			教授 博(工)阪大 ○岡 絵 理 子
			教授 博(工)東大 ○木下 光
	教授 工博(京大) ○藤田 勝 也		
	准教授 博(工)阪大 亀谷 義 浩		
	環境系	教授 博(工)京大 ○河井 康 人	
		教授 博(工)阪大 ○原 直 也	
		准教授 博(工)京大 豊田 政 弘	
	都市システム工学分野	地球環境系	教授 博(工)京大 ○石垣 泰 輔
			教授 工博(関大) ○楠見 晴 重
			准教授 博(工)京大 尾崎 平
			准教授 Ph. D. (南カリフォルニア大) 飛田 哲 男
准教授 博(工)京大 安田 誠 宏			
設計建設系		教授 博(工)京大 ○小林 晃	
		教授 工博(東工大) ○坂野 昌 弘	
		教授 博(工)九大 ○鶴田 浩 章	
		准教授 博(工)阪大 石川 敏 之	
准教授 博(工)名大 上田 尚 史			
計画マネジメント系		教授 工博(京大) ○秋山 孝 正	
		教授 博(工)東北大 ○北詰 恵 一	
	教授 工博(京大) ○木村 俊 一		
	教授 博(工)阪大 ○尹 禮 分		
准教授 博(工)名大 井ノ口 弘 昭			
情報システム系	教授 工博(京大) ○兼清 泰 明		
	教授 博(工)立命大 ○滝沢 泰 久		
	教授 博(工)奈良先端大 ○安室 喜 弘		
	准教授 博(工)関大 窪田 論		
准教授 博(情報)京大 檀 寛 成			
都市システム工学・ 建築学分野・ 共通	地域再生学	教授 博(工)京大 ○石垣 泰 輔	
		教授 博(工)阪大 ○江川 直 樹	
		教授 博(工)阪大 ○岡 絵 理 子	
		教授 博(工)東北大 ○北詰 恵 一	
		教授 博(工)東大 ○木下 光	
		教授 工博(関大) ○楠見 晴 重	
		教授 工博(東工大) ○坂野 昌 弘	
教授 工博(京大) ○西澤 英 和			
エネルギー・ 環境工学分野	エネルギー工学	教授 博(工)関大 ○池永 直 樹	
		教授 工博(京大) ○三宅 孝 典	
		准教授 博(工)関大 佐野 誠	
		准教授 博(工)関大 中川 清 晴	
	准教授 博(工)関大 村山 憲 弘		
	環境化学	教授 工博(京大) ○岡田 芳 樹	
		教授 博(工)京大 ○林 順 一	
		教授 博(工)関大 ○山本 秀 樹	
准教授 博(工)関大 荒木 貞 夫			
准教授 博(工)阪大 木下 卓 也			
准教授 博(工)阪大 田中 俊 輔			
准教授 博(工)京大 長谷川 功			

※ 上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。
URL : http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

2017年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)		
総合理工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授	博(工)関大	○池田勝彦
			准教授	博(工)阪大	上田正人
		金属材料プロセス	教授	工博(京大)	○竹中俊英
			教授	博(工)阪大	○西本明生
			教授	博(工)関大	○星山康洋
			教授	博(工)北大	○丸山徹
			准教授	博(工)大府大	森重大樹
		金属・無機材料物性	教授	博(工)三重大	○荒地良典
			教授	工博(京大)	○幸塚広光
	教授		博(工)京大	○竹下博之	
	教授		博(工)阪大	○春名匠	
		准教授	博(工)慶應大	内山弘章	
	無機・物理化学	教授	博(理)阪大	○青田浩幸	
		教授	工博(阪大)	○石川正司	
		教授	博(理)九大	○川崎英也	
		准教授	博(工)慶應大	山縣雅紀	
	有機化学	教授	博(工)岐阜大	○大洞康嗣	
		教授	博(工)関大	○坂口聡	
教授		理博(阪大)	○田中耕一		
教授		工博(阪大)	○西山豊		
准教授		博(工)阪大	梅田墨		
准教授		博(理)大市大	矢野将文		
高分子化学	教授	博(工)東工大	○工藤宏人		
	教授	博(工)東工大	○三田文雄		
	准教授	博(工)関大	原田美由紀		
生体材料化学	教授	博(工)日大	○岩崎泰彦		
	教授	博(工)京大	○大矢裕一		
	教授	工博(阪大)	○田村裕		
	教授	博(工)大工大	○平野義明		
	教授	博(地球環境科学)北大	○古池哲也		
	教授	博(工)神大	○宮田隆志		
	准教授	博(工)大府大	柿木佐知朗		
	准教授	博(工)東大	葛谷明紀		
生体機能分子化学	教授	学術博(神大)	○中林安雄		
	准教授	博(理)奈良女子大	中井美早紀		
	准教授	博(理)名大	矢島辰雄		
生命・生物工学分野	生命・医薬	教授	博(農)京大	○老川典夫	
		教授	博(理)阪大	○下家浩二	
		教授	博(薬)京大	○長岡康夫	
		准教授	博(薬)京大	住吉孝明	
		准教授	博(理)阪大	安原裕紀	
		准教授	博(生物資源)福井県立大	山中一也	
	環境	教授	博(工)関大	○岩木宏明	
		教授	農博(東大)	○片倉啓雄	
		教授	工博(関大)	○長谷川喜衛	
	教授	博(工)阪大	○松村吉信		
食品	教授	学術博(岡大)	○河原秀久		
	教授	博(水産)北大	○福永健治		
	教授	農博(京大) 医博(関西医科大)	○吉田宗弘		

※ 上記の一覧は、2016年度の内容です。

注 研究指導教員については変更することがあります。
変更がある場合は、ウェブサイトにてお知らせします。
URL : http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

Ⅷ 共通事項

1 障がいのある受験生等への受験上の配慮および修学上の配慮について

疾病・負傷や障がい等のために、入学試験受験上の配慮および修学上の配慮を希望する志願者に対しては、その程度に応じ、受験時や入学後の学習環境において、可能な限り配慮措置を講じますので、出願に先立ち、大学院入試グループに申し出てください。

2 受験上の注意

- (1) 最初の時限の試験開始 20 分前までに指定された試験場に入室してください。
- (2) 受験票を必ず携行してください。忘れた人は受験できないことがあります。
- (3) 筆記試験および口頭試問開始 30 分経過後の遅刻者には、受験を許可しません。
- (4) 試験開始後、途中で退場することは認めません。
- (5) 机の上には、下記以外のものを置くことはできません。
 - 受験票（机上の受験番号シールの手前に置く）
 - 筆記用具、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のものおよびナイフ類は使用不可）
 - 時計（計時機能だけのものに限りです。秒針音のするものや大型のものは使用不可）
 - ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）※目薬、下敷、座布団、ひざ掛け、ハンカチの使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。
- (6) 定規、コンパス、計算機（電卓など）、計算・辞書機能等の付いた時計、ウェアラブルデバイス（腕時計型、眼鏡型など）、キッチンタイマー、携帯電話・スマートフォンの使用および文房具の貸借は一切許可しません。また、アラーム付きの時計は、アラーム機能を解除しておいてください。
- (7) 携帯電話・スマートフォン、携帯型音楽プレイヤー等は必ず電源を切りカバンに入れてください。また、携帯電話等を時計として使用することは許可しません。
- (8) 耳栓は、監督者の指示等が聞き取れない場合がありますので、使用することを許可しません。
- (9) 試験場においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。
- (10) 不正行為について
次の①～⑧のいずれかに該当する場合、不正行為となる場合があります。
不正行為者には、ただちに試験の中止を命じ、全科目を無効とし、以後に実施される本年度の入学試験の受験を認めません。
 - ① 不正な手段をもって自己を利するような行為をすること。
 - ② 試験時間中に、他の受験生を利するような行為をすること。
 - ③ 試験時間中に、使用を許可されているもの以外のものを机の上に置くこと。
 - ④ 試験時間中に、携帯電話等の通信機器を身に付けること。
 - ⑤ 試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - ⑥ 試験場において、試験監督者の指示に従わないこと。
 - ⑦ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑧ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (11) 関西大学では、自動車・モーターバイクによる通学・通勤は全面禁止となっており、駐車場はありませんので、受験の際は公共交通機関を利用してください。
- (12) 合格者発表は、文書による通知と本大学院入試情報サイト上での「合格者受験番号一覧」以外は行っておりません。試験会場周辺での合・否電報受付およびアンケート調査等があっても、関西大学とは一切関係がありませんので、十分ご注意ください。

試験会場周辺で合否連絡を口実に、個人情報を入力させたり、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせたりするような事例や、大学の名前をかたり入学金(入学登録金)や授業料等を振り込ませる詐欺等には十分ご注意ください。

また、入学金(入学登録金)や授業料等の振込みには、合格通知書等に同封する専用の振込用紙が必要です。関西大学から電話やメールで現金の振込みをお願いすることは一切ありませんので、ご注意ください。

3 入学試験実施に際しての対応について

関西大学では、入学試験の実施に際し、可能な限り公平で良好な受験環境の保全に努めます。しかしながら、やむを得ず次のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害、火災、停電、感染症（はしか、インフルエンザ等）その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になり得ること、また試験時間を確保するために休憩時間を内規に基づいて調整することがあります。）、試験や合格者発表の延期等の措置をとることがあります。この場合、本大学院入試情報サイトにおいて、周知しますので、適宜確認してください。ただし、試験開始時刻の繰り下げ、試験や合格者発表の延期等の措置によって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- (2) 生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はいたしません。
《生活騒音の例》
 - ・ 風音、雨音、雷鳴
 - ・ 航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
 - ・ 通過する緊急自動車のサイレン音
 - ・ 工事の音
 - ・ 廃品回収や物売りの類およびイベント等のアナウンス
 - ・ 動物の鳴き声
 - ・ 空調や照明等、試験会場となる施設・設備が通常発する音
 - ・ 他の受験者の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、鼻をすする音、筆記具を使用する際の音等）
- (3) 試験中に万一携帯電話・スマートフォンや時計などの音や振動などが発生し、発生源のかばん等が特定できた場合は、持ち主の同意なしに試験監督者が試験場外に持ち出し、入試実施本部で保管することがあります。
- (4) 試験教室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどの考慮は一切行いません。
- (5) 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
- (6) 他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

その他、以下については、すべて本大学院入試情報サイトにてお知らせします。

- ・ 入学試験の実施に関して緊急に連絡が生じた際のお知らせ
- ・ 募集要項に訂正があった場合のお知らせ
- ・ 担任者一覧（専任教員一覧）等に変更があった場合のお知らせ
- ・ 進学説明会等の案内
- ・ その他、入学試験全般に関するお知らせ 等

4 2017年度 学 費・諸 費

博士課程前期課程

(単位：円)

種 別		2017年度		2018年度以降 (年 間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入 学 金	130,000	—	—
	授 業 料	569,500	569,500	1,139,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	20,000
合 計		709,500	569,500	1,159,000

博士課程後期課程

(単位：円)

種 別		2017年度		2018年度 (年 間)	2019年度以降 (年 間)
		入学初学期	秋学期		
学費	入 学 金	130,000	—	—	—
	授 業 料	409,500	409,500	819,000	819,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	20,000	—
合 計		549,500	409,500	839,000	819,000

注1 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院学則第46条第1項第10号に規定する者（飛び級入試合格者）が、大学院へ進学する場合は、入学金〈入学登録金〉を徴収しません。

注2 関西大学留学生別科を修了した者または本学留学生別科に在学する学生が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金〈入学登録金〉を半額とします。

注3 諸費の校友会基本会費は、入学時に10,000円、翌年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。

なお、関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院学則第46条第1項第10号に規定する者（飛び級入試合格者）で、すでに納入済の方からは徴収いたしません。

※ 研究科によって選考基準が異なります。詳細については次頁記載の各キャンパス奨学金係までお問い合わせください。

① 日本学生支援機構大学院奨学金

貸与制 ※ 出願制

募集対象者

- 2017年度 博士課程前期課程入学者及び博士課程後期課程入学者
(学業・人物ともに優れ、大学院において研究を継続するために、本奨学金が必要である者。ただし、留学生を除く。)

奨学金の種類・貸与月額

■ 第一種奨学金(無利子)

課程	貸与月額
博士課程前期課程	50,000円・88,000円から希望選択
博士課程後期課程	80,000円・122,000円から希望選択

■ 第二種奨学金(有利子)

課程	貸与月額
博士課程前期課程	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円 ・150,000円から希望選択
博士課程後期課程	

貸与期間

- 2017年4月から標準修業年限の終期まで

大学院学生対象の給付奨学金採用実績 (全研究科・全年次の2015年度実績)

- 全研究科・全年次において、およそ4割の大学院学生が給付奨学金に採用されています。

② 関西大学大学院特別給付奨学金

給付制 ※ 通知制

(給付対象者には入学前に採用決定通知書を送付)

給付対象者

- 2017年度 博士課程前期課程入学者及び博士課程後期課程入学者のうち大学院入学試験成績優秀者

選考対象となる入試種別

- 選考対象となる入試種別は、博士課程前期課程および博士課程後期課程において、全入試日程終了後、全ての入学試験を対象に選考を行います。ただし、法学研究科、商学研究科および理工学研究科の博士課程前期課程については、次のとおりです。

法学研究科(博士課程前期課程): ABEイニシアティブプログラムによる外国人留学生特別入学試験を除く全ての入学試験を対象に選考を行う。

商学研究科(博士課程前期課程): 商学部・商学研究科5年一貫教育プログラム入学試験(10月募集)、学内進学試験(10月募集)、学内進学試験(2月募集)の中から選出する。

理工学研究科(博士課程前期課程): 学内進学試験(6月募集)、一般入学試験(8月募集)、学内進学試験(学部早期卒業生対象)の中から選出する。

給付金額

課程	研究科	給付金額(年額)
前期	法学、文学、経済学、商学、社会学、心理学、東アジア文化、ガバナンス、人間健康	500,000円
	外国語教育学	550,000円
	総合情報学、社会安全	600,000円
	理工学	750,000円
後期	全研究科	500,000円

※博士課程前期課程において、3年コース、1年コースを希望される方は、給付金額が異なります。別途、お問い合わせください。

給付期間

- 2017年度から標準修業年限の終期まで
(学年末に学業成績による継続審査を行います。その結果、給付期間を短縮することがあります。)

③ 関西大学大学院給付奨学金**給付制** ※ 出願制**給付対象者**

- 学業成績優秀者で経済的理由により修学が困難な大学院学生
(2016年4月募集【関西大学大学院入学前予約採用型給付奨学金】で採用が内定している場合、出願できません。)

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間 (再出願可)

④ 関西大学教育助成基金給付奨学金**給付制** ※ 出願制**給付対象者**

- 学業成績優秀者で経済的理由により修学が困難な大学院学生
(2016年4月募集【関西大学大学院入学前予約採用型給付奨学金】で採用が内定している場合、出願できません。)

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間 (再出願可)

⑤ 関西大学社会人大学院学生給付奨学金**給付制** ※ 出願制**給付対象者**

- 学業成績優秀、かつ各研究科で定める優秀な業績を収めている社会人大学院学生

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間 (再出願可)

給付金額

《③関西大学大学院給付奨学金、④関西大学教育助成基金給付奨学金、⑤関西大学社会人大学院学生給付奨学金共通》

課 程	研 究 科	給付金額(年額)
前 期	法学、文学、経済学、商学、社会学、心理学、 東アジア文化、ガバナンス、人間健康	250,000円
	外国語教育学	275,000円
	総合情報学、社会安全	300,000円
	理工学	375,000円
後 期	全研究科	250,000円

※博士課程前期課程において、3年コース、1年コースを希望される方は、給付金額が異なります。別途、お問い合わせください。

千里山キャンパス【学生センター奨学支援グループ】

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL.06-6368-1121(大代表)
窓口取扱時間/9:00~19:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

高槻キャンパス【高槻キャンパスオフィス】

〒569-1095 高槻市霊仙寺町2-1-1
TEL.072-690-2163(直通)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

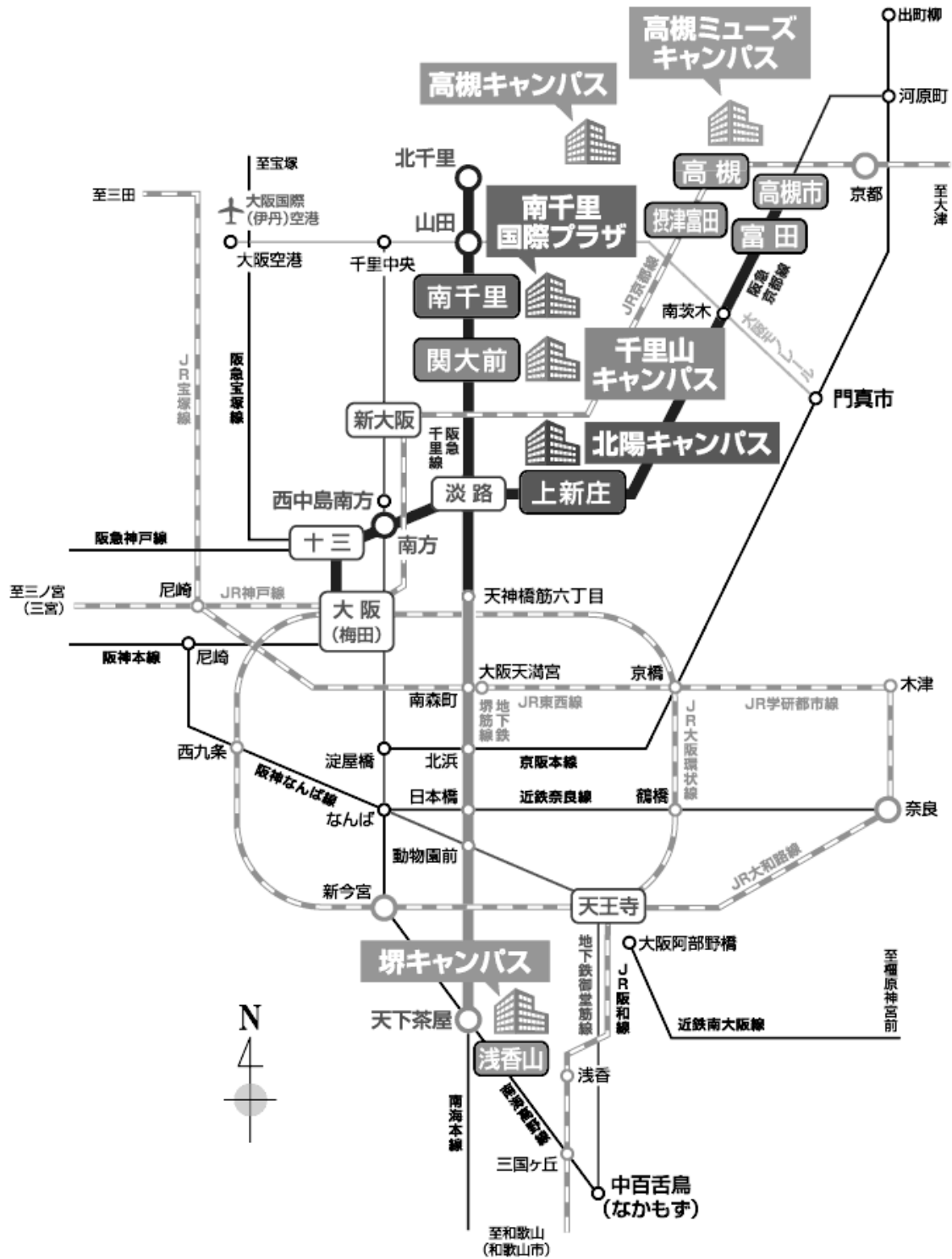
高槻ミュージズキャンパス【ミュージズオフィス】

〒569-1098 高槻市白梅町7-1
TEL.072-684-4000(代表)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

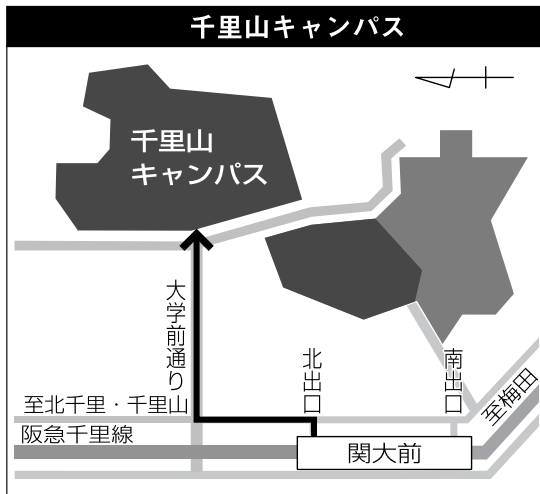
堺キャンパス【堺キャンパス事務室】

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
TEL.072-229-5022(代表)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

6 関西大学への主な交通機関



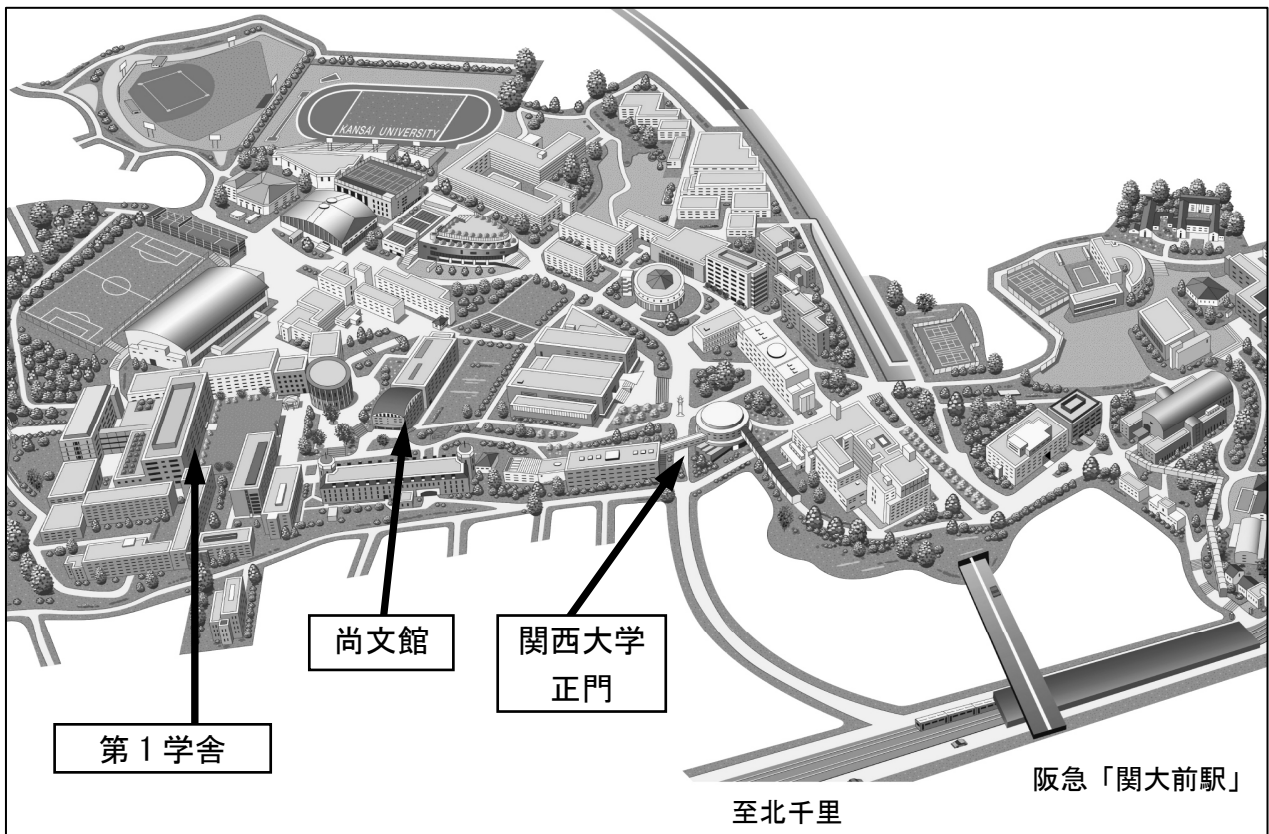
7 試験場のご案内



- 阪急電鉄「梅田(大阪)」駅から「北千里行」で十三・南方・淡路を経て「関大前」駅下車(この間約20～25分)、または阪急電鉄「梅田(大阪)」駅から「京都河原町行」(特急・快速急行・準急もしくは普通)で「淡路」駅下車、「淡路」駅で「北千里行」に乗り換え「関大前」駅下車(この間約15分)、いずれも徒歩約5分。
※通勤特急は「淡路」駅には停車しませんのでご注意ください。
- 地下鉄堺筋線(阪急電鉄千里線相互乗り入れ)「天下茶屋」駅から「北千里行」で日本橋・北浜・天神橋筋六丁目(天六)・淡路を経て「関大前」駅下車(この間約40～45分)、徒歩約5分。
- JR新幹線「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず行」で「西中島南方」駅下車。阪急電鉄「南方」駅で「北千里行」に乗り換え、淡路を経て「関大前」駅下車(この間約30～35分)、徒歩約5分。
- 大阪国際空港(伊丹空港)〈大阪モノレール「大阪空港」駅〉から「門真市行」で蛸池・千里中央を経て「山田」駅下車。阪急電鉄「山田」駅で「天下茶屋行」か「梅田行」に乗り換え、「関大前」駅下車(この間約30～35分)、徒歩約5分。

(注) 関西大学千里山キャンパスでの受験に際して道順を尋ねたり、タクシーの乗車時に行き先を告げたりする場合は、「千里山の関西大学」とはっきり言ってください。

関西大学には複数のキャンパス(千里山、高槻、高槻ミュージズ、堺)があり、また単に「キャンダイ」と言うと、吹田市内や隣接の豊中市に大阪大学「略称ハンダイ」があるため、聞き違えられて行き先を誤り、大切な受験の機会を失うおそれがありますので十分にご注意ください。



Web エントリーに関する Q&A

Q1 インターネットに接続できる環境が自宅がありません。Web エントリーはどのようにしたらよいですか？

A1 大学等、インターネットに接続できる環境があればどこからでも Web エントリーは可能です。どうしても Web エントリーができない場合は、Web エントリー開始日までに大学院入試グループへ連絡してください。

Q2 志願票等の書類を印刷できる環境が自宅がありません。志願票等の書類の印刷はどのようにしたらよいですか？

A2 大学等、プリンターが利用できる環境から印刷してください。または、セブン-イレブン店頭のコピー機から印刷できるサービス「ネットプリント」を利用する等して印刷してください (<http://www.printing.ne.jp/>)。

どうしても志願票等の印刷ができない場合は、大学院入試グループへ連絡してください。

Q3 Web エントリーで登録した内容に間違いがありました。修正する場合はどのようにしたらよいですか？

A3 Web エントリー完了後の登録内容の修正はできません。入学検定料の納入前であれば、再度、最初から Web エントリーを行ってください(入学検定料納入後や出願書類提出後は Q4 を参照)。ただし、登録時に付与された整理番号を利用すれば、前回登録した個人情報をもとに、再度出願内容を入力することができます。

なお、登録を再度行った場合は、前回取得した志願票および各種手続番号（整理番号、払込票番号等）は破棄してください。前回取得した志願票および各種手続番号を用いて入学検定料の納入や出願書類の提出をした場合は、出願が完了したことにはなりませんのでご注意ください。

Q4 入学検定料納入後もしくは出願書類の提出後に登録内容の間違いに気づきました。どのようにしたらよいですか？

A4 大学院入試グループへ連絡してください。

Q5 Web エントリー完了時に付与された整理番号を忘れてしまいました。どのようにしたらよいですか？

A5 整理番号は、Web エントリー完了後、Web エントリーの際に登録したメールアドレスに届くメールに記載されていますのでそちらを確認してください。

Q6 Web エントリー完了時にポップアップがブロックされ、志願票等の書類の印刷ができませんでした。どのようにしたらよいですか？

A6 Web エントリーで登録した情報は整理番号を利用して再度表示することが可能です。

Web エントリー画面の「出願内容を確認する（ログイン）」ボタンから、登録時に付与された整理番号と氏名、生年月日、電話番号を入力・ログインし、「志願票を印刷する」ボタンより印刷してください。

Q7 Web エントリーと入学検定料の支払いが済めば、出願したことになるでしょうか？

A7 いいえ。出願手続は Web エントリー、入学検定料の納入および出願書類の提出のすべてが完了しなければなりません。締切後の手続はできませんので、いずれも余裕を持って所定の期間内に手続を行ってください。



関西大学大学院

http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

E-mail:grd-adm@ml.kandai.jp

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：総合情報学部オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail:k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：ミューズオフィス

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail:safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5042 (直通)

E-mail:sakai1@ml.kandai.jp